

2026  
春闘

# 社会を変える正念場!

## 「こだわろう!くらしの向上 ひるげよう!仲間の輪」



労働施策の充実を求める連合石狩地協四役

連合石狩地域協議会は、4月9日・13日、労働基準監督署および職業安定所に対し、「2026年度労働行政に関する要請書」を提出しました。本要請では、地域におけるすべての労働者の賃金・処遇改善、労働条件改善、ワークルールの遵守、就業規則や有給休暇の周知徹底、正確な求人情報の提供、地域における雇用の安定・人材確保、そして人員配置等の体制強化について要請しました。

吉田会長は「2026春闘は、引き続き中小組合の取り組みがヤマ場を迎えることから、格差是正と底上げを実現したい。労働相談も増えている。現下の労働現場では多くの課題が山積している。労働行政の果たす役割は極めて重要で意見交換や情報共有が大事。要請内容を行政運営に反映されたい」と求めました。

労働基準監督署および職業安定所からは、何れの課題も重要であり、今後も情報提供をお願ひしたい、引き続き連携し努力すると回答されました。

地域の雇用安定と人材確保、ワークルールの遵守徹底を!  
労働行政への要請行動実施!



連合石狩地協・札幌地区連合は、4月23日に2026春闘勝利!石狩地域地場未解決組合「解決促進集会」を開催し、300名が参加しました。

すべての働く仲間の生活向上の実現を!  
石狩地域地場未解決組合「解決促進集会」を開催

冒頭、連合石狩地協吉田会長は、地場中小組合の闘いは、これらが正念場。先行組合が作り出した賃上げの流れを未解決の地場中小や労働組合のない職場にしっかりと波及させ、「格差是正」と「人への投資」で誰もが賃上げの実感を持つる社会を勝ち取ろうと訴えました。

連合北海道須間会長は、多くの産別・単組での粘り強い交渉展開により昨年の賃上げを何とか引き出されている。物価上昇を上回る賃上げを何としても成し遂げよう。労働組合が先頭に立って要求・交渉し、その成果を公表することで、組合のない職場を含む社会全体に賃上げの動きを広げていこうと檄を飛ばしました。

全石狩地域闘争委員会報告と提案の後、札幌地区ユニオン北海道ウイメンズ・ユニオン近藤執行委員長、UAゼンセン北海道支



北海道ウイメンズユニオン  
近藤執行委員長



UAゼンセン  
浅山次長



全日通労働組合  
宮崎書記長

部浅山次長、運輸労連全日通労働組合札幌エリア支部宮崎書記長から取り組み報告がされました。その後、集会宣言の提案と団結ガンバローで決意を固めました。

地域呼びかけ運動 **今年もみんなて、はる さつとう!!**

配布行動は**5月** 各地区および各区連合を拠点に実施します

配布地域 石狩管内および札幌市内全域

届けよう!大切なワークルールの働く皆さんに

連合北海道札幌地区連合会ホームページ

労働相談ホットライン  
フリーダイヤル いこうよ れんごうに  
☎0120-154-052

QRコードで速報をチェック!

<https://rengo-sapporo.jp/>

**札幌れんごう**

札幌市中央区北4条西12丁目 ほくらうビル2階  
編集発行人 吉田 賢一 ☎210-0505

2026年5月5日 496号  
連合北海道札幌地区連合会